

# 第21回 沖縄がん心のケア研究会

日時：平成23年12月 3日（土）受付13：30～ 参加申し込み不要  
場所：那覇市立病院 3階講堂 参加費：100円

今回のレクチャーは、入院・退院・在宅復帰を通じて、利用者のニーズに応じた適切な切れ目ないサービスの組み合わせを提供する「地域包括ケアシステム」の概要を識り、患者さんやご家族の意志を尊重した在宅移行支援や在宅療養支援の実際、その課題について事例を通して学びます。ご参加をお待ちしております。

## 第1部：レクチャー（14：00～15：00）

「地域包括ケアシステムの構築～24時間・365日暮らしの安心を提供する」  
～介護保険法改正の概要と医療と介護の連携をとおした事例紹介～

大城 則子 氏（一般社団法人 沖縄県介護支援専門員協会 会長）

## 第2部：事例検討会（15：00～17：00）

①（仮題）「自殺企図のある患者さんの心のケア」

林 未来 氏（那覇市立病院 緩和ケア認定看護師）

②（仮題）「ターミナル期にある単身高齢者のトータルペインを地域で支え合う」

高江洲 アヤ子 氏（那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー）

担当：樋口（那覇市立病院 098-884-5111 内線127）

## 沖縄がん心のケア研究会

ホームページ <http://yuima-ru.umin.jp/>

### —多職種で行う参加・体験型グループスーパービジョン—

「沖縄がん心のケア研究会」は、がん治療にかかわる様々な者が、職種や立場を超えて、「がん患者・家族の心のケアの均てん化」を目的として行う参加・体験型の研究会です。

“心のケアの均てん化”とは、“いつでもどこでも誰でも、同じように心のケアが受けられる”ということです。研究会では、心のケアに関する専門的な視点からの意見や見識を学び、また実際の事例を毎回参加者が持ち寄り、職種や立場を超えて意見を述べ合い、検討しています。これにより、心のケアに必要なカウンセリングやコミュニケーション技術のスキルアップのみならず、ものの見方・考え方を広げて、がん患者の心のケアの均てん化の方法を模索していきます。

スーパーバイザーは、サイコオンコロジーの第一人者である聖路加国際病院精神腫瘍科の保坂 隆先生です。

お問い合わせ先：[okinawa.kokoro.no.care@gmail.com](mailto:okinawa.kokoro.no.care@gmail.com)